

H5エリア東側のH6エリア用ノッチタンクからの溢水について(続報)

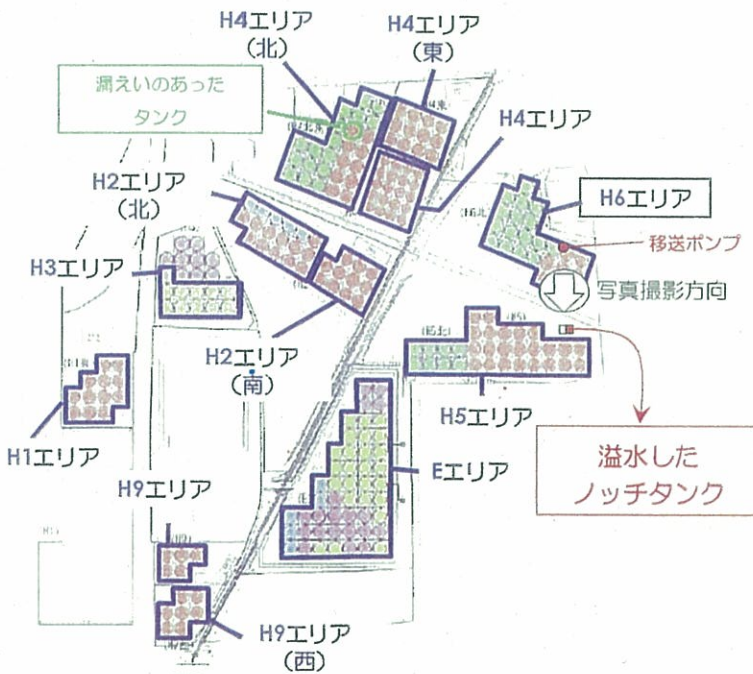
- 日時：平成25年10月1日（火）
 - 10:38 H6エリア堰内からの移送ポンプを起動
 - 11:50 H6エリア用ノッチタンクからの溢水を確認
 - 12:10 移送ポンプ停止、ノッチタンクからの溢水の停止
- 場所：H5エリア東側のH6エリア用ノッチタンク
- 状況：台風対策として、H6エリア堰内雨水をH2南エリア堰内へ移送するため、当社社員（1名）による移送作業を開始した。
 しかし、H6エリアからH2南エリアへの移送ホースの途中で、H6エリア用ノッチタンクに繋ぎ込みが変更されていたため、ポンプ起動後に当該ノッチタンクから溢水した。
- 漏えい量：約5m³
- 放射能濃度（水分析）：

ノッチタンク内（10/1採取）：Cs134：8.0Bq/L、	Cs137：16Bq/L、	全β：390Bq/L
タンク下部堰（10/1採取）：Cs134：6.9Bq/L、	Cs137：16Bq/L、	全β：380Bq/L
H6エリア堰内（10/1採取）：Cs134：ND（13Bq/L）、	Cs137：ND（19Bq/L）、	全β：340Bq/L
H6エリア堰内（10/2採取）：Cs134：ND（13Bq/L）、	Cs137：ND（20Bq/L）、	全β：520Bq/L

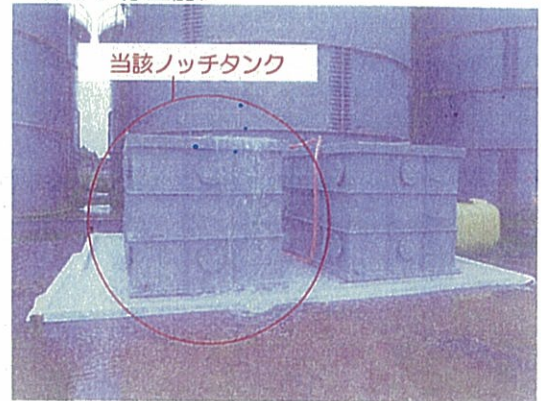
※NDは検出限界値未満を表し、（ ）内に検出限界値を示す。
 ※全βの分析は、簡易測定法による。



<溢水したノッチタンクの位置と状況>



<ポンプ停止前>



原子力規制庁撮影 平成25年10月1日

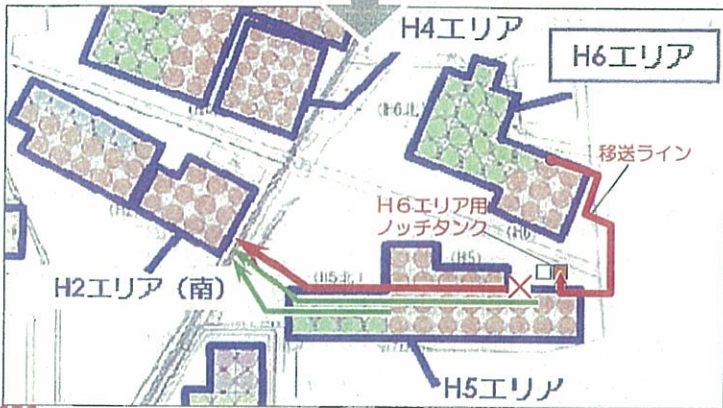
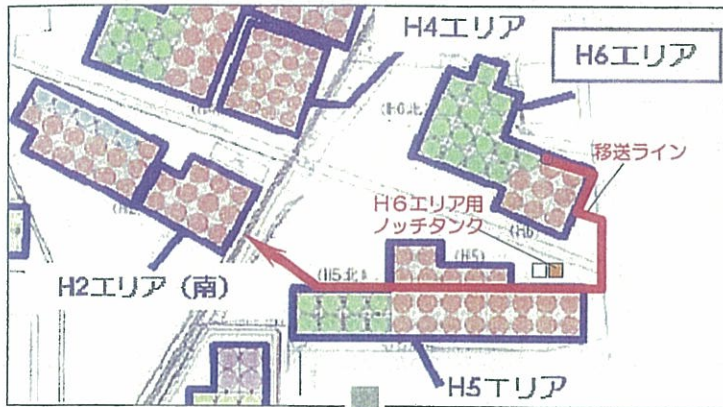
<ポンプ停止後>



東京電力撮影 平成25年10月1日



<原因と背景>



- 10月1日は、
 - ・H6エリア堰内からH2（南）エリア堰内への移送
 - ・H6エリア堰内からH6エリア用ノッチタンクへの移送ライン設置工事を行う予定だった。
- H6エリア堰内からH6エリア用ノッチタンクへの移送ラインについて、当社は協力企業に対し、緊急的施工を求めている。
- これを受けた協力企業は、既に設置しているH2（南）エリアへの移送ラインを一部流用する形で、繋ぎ替えを実施した。（10月1日10時頃に施工。）
- 本工事の「施工方法」および「施工時期」について、当社と協力企業間で十分なコミュニケーションが図られなかったことが原因。
- また、H6エリア堰内からの水移送開始前のライン構成確認、ならびにポンプ起動後のライン漏えい確認等を実施したが、同様の材料を用いたH5エリア堰内からの移送ライン（左図；緑の2ライン）が近傍に敷設されており、見誤ってしまった可能性がある。